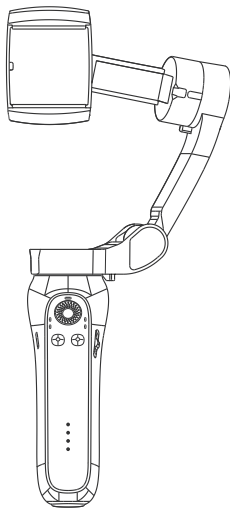


# XootGo

---

## スポーツ用自動追跡ジンバル取扱説明書

バージョン 1.4 2023年10月



# 目次

|                    |    |
|--------------------|----|
| <b>利用開始前の事前準備</b>  | 41 |
| <b>製品の紹介</b>       | 42 |
| 自動追跡機能             | 42 |
| チュートリアル動画          | 42 |
| スマホ用スタビライザー機能      | 42 |
| 部品構成図              | 43 |
| <b>使用方法</b>        | 44 |
| 充電                 | 44 |
| スマホの取り付け           | 44 |
| 録画場所の設定            | 45 |
| <b>XbotGoの操作方法</b> | 47 |
| ボタンと操作             | 47 |
| ジンバルの調整            | 49 |
| 「Xbot Go」アプリの利用方法  | 49 |
| <b>仕様書</b>         | 52 |
| <b>使用上の注意点</b>     | 53 |
| <b>保管とメンテナンス</b>   | 53 |
| <b>リモートコントローラー</b> | 54 |

# 01/ 利用開始前の事前準備

下記のQRコードをスキャンし、「Xbot Go」アプリをダウンロードしてください。



iOS



Android

△ iOS 15.0以降が必要です。  
Android 10.0以降が必要です。

## 簡単操作ガイド

1. Xbot Goアプリを開きます
2. 「取扱説明書」をタップします
3. 「チュートリアル動画」をご覧ください

### ご注意

- 1) 初めてジンバルを使用する際に、必ず事前にフル充電してください。
- 2) 使用しない時は、電源をオフにしてください。
- 3) スマホをフォンホルダーに確実に取り付けてください。

## アフターサービス

下記の連絡先までお問い合わせください。

support@blinktech.usまたは +1 (408) 513 - 6183

営業時間: 8:00 - 11:00 AM, 8:00 - 11:00 PM EST ( M - F )

## 02/ 製品の紹介

---

### ▶ 自動追跡機能

XbotGoをご購入いただきありがとうございます。ご利用を始める前に、必ずジンバルの自動追跡機能、スポーツ試合の録画や配信方法についてのチュートリアル動画をご覧ください。

### ▶ チュートリアル動画

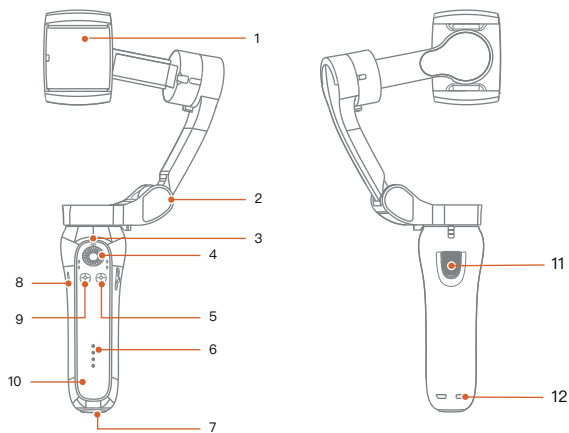


### ▶ スマホ用スタビライザー機能

XbotGo Gimbalは、録画時にスマホを安定させるスタビライザーとしても使用できます。スタビライザーとして使用するには、アプリストアで「Gimbal Pro」アプリをダウンロードしてください。詳細な使用方法は、「XbotGo Gimbal取扱説明書」をご確認ください。取扱説明書は、Blink Tech公式サイトの「Download」ページにある「Xbot Go」セクションからダウンロードできます：[www.blinktech.us](http://www.blinktech.us)



## ▶ 部品構成図



- |                   |                |
|-------------------|----------------|
| 1. スマホホルダー        | 7. ¼" 取り付け用ネジ穴 |
| 2. 折りたたみシャフト      | 8. Type-C充電口   |
| 3. Bluetooth通信ランプ | 9. モードボタン      |
| 4. ジョイスティック       | 10. ハンドル       |
| 5. 電源ボタン          | 11. シャッターボタン   |
| 6. バッテリー残量ランプ     | 12. ストラップ取り付け穴 |

# 03/ 使用方法

## ▶ 充電

- XbotGoを充電する際は、充電ケーブル（付属品）をUSB-C充電口に差し込み、USBアダプター（別売り）と接続してください。このデバイスには高速充電機能があります。5V/2A に対応するアダプターを使用することがおすすめです。

充電時間：80分

最大稼働時間：3～4時間

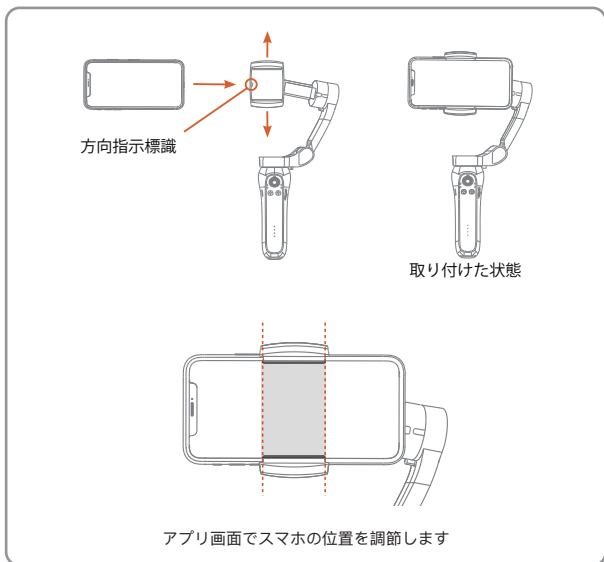
- XbotGoを充電している間、青色の電源ランプが点滅します。点滅しない場合、アダプターとケーブルがしっかりと接続されているかをご確認ください。充電が完了したら、四つの電源ランプはすべて青く光ります。



## ▶ スマホの取り付け

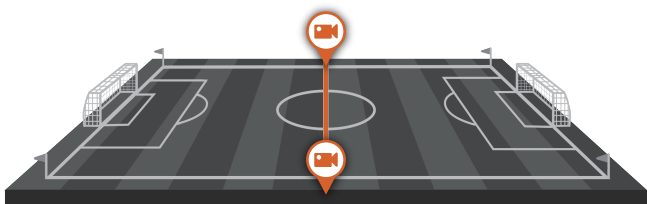
1. スマホをホルダーに取り付けます。
2. スマホのケースが取り外された状態で、スマホを取り付けることがおすすめです。こうすることで以下の利点があります。
  - (1) スマホはより確実にホルダーに収まります。
  - (2) スマホはより効率的に排熱できます（スマホの温度が高すぎると、電源が落ちる恐れがあります）。

3. スマホホルダーの方向指示標識に従い、スマホを留め具に取り付けます。ズレないように、スマホを中央に置き、パネルにしっかりと固定してください。アプリの録画面面の赤い線で示された位置に、スマホが正しく置かれているかを確認してください。



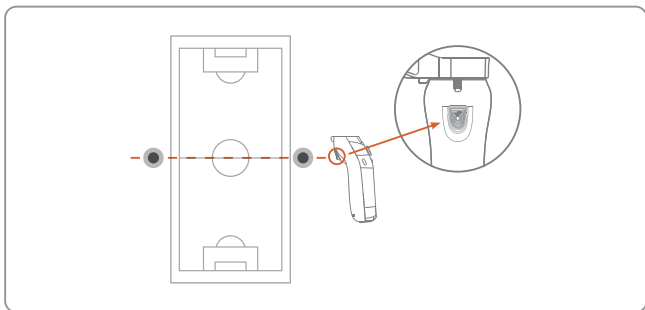
### ▶ 録画場所の設定 (推奨)

スポーツ試合を録画する際に、自動追跡機能の効果を最大限に発揮するために、図のように、フィールドのセンターラインの近くにスマホを設置することがおすすめです。トレーニングモードで録画する場合でも、フィールドの中央に設置することが理想的です。



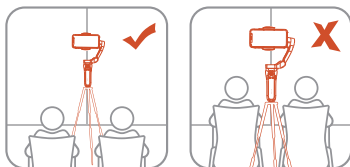
例：サッカー場

- 本体裏側にあるセンターマークを、録画するフィールドのセンターラインに合わせてください。バスケットボールのハーフコートモードを除く、すべてのモードで同じ設定がおすすめです。こうすることで、カメラがフィールド全体を捕らえることができます。



- 録画を行う、または、自動追跡機能を利用する際に、ジンバルの安定性を保つために、三脚を使用することがおすすめです。サッカーのような、広いフィールドで行われるスポーツ試合を記録する場合、最高の効果が得られるように、12フィート以上の（3.5メートル以上の）三脚を使用することを強く推奨します。
- 他の観客がカメラを遮らないように、三脚を高く調整するか、サイドライ

ンの近くに設置するようにしましょう。

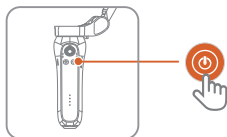


## 04/ XbotGoの使用方法

### ▶ ボタンと操作

#### 1. 電源ボタン

- 電源オン: 電源ランプが点灯するまで、電源ボタンを1秒以上長押ししてください。電源がオンになると、ジンバルは起動音を鳴らします。
- 電源オフ: 電源ランプが消灯するまで、電源ボタンを1秒以上長押ししてください。



### ご注意

電源をオフにしたら、折りたたみシャフトを手動で畳んでください。そして、スマホホルダーを保管状態の位置に戻してください。

- **撮影方向の切替:** パワーボタンを素早く1回押すことで、撮影方向を縦または横に切り替えることができます。ジンバルが動けない場合、AFランプが点滅します。この時は、パワーボタンをすばやく1回押すことで、状態をリセットできます。

## 2. モードボタン

**センター位置復帰:** ボタンを2回押すと、ジンバルは中央位置に復帰します。

## 3. シャッター

**Bluetoothのリセット:** パワーボタンとシャッターボタンを同時に3秒以上長押しすることで、Bluetoothをリセットできます。リセットすると、ジンバルとスマホのペアリングが解除されます。

## 4. ジョイスティック

上下に動かすことで、縦の角度を調整できます。左右に動かすことで、スマホを左右に回すことができます。

## 5. バッテリー残量ランプ

| 充電の状態                    | バッテリー残量 |
|--------------------------|---------|
| 最初のランプが点滅                | 10%–25% |
| 最初のランプが点灯、2番目のライブが点滅     | 25%–50% |
| 最初と2番目のランプが点灯、3番目のランプが点滅 | 50%–75% |
| 最初の三つのランプが点灯、4番目のライブが点滅  | 75%–99% |
| 四つのランプがすべて点灯             | 100%    |

## 6. Bluetooth通信ランプ

| 通信ランプの状態              | Bluetoothの状態        |
|-----------------------|---------------------|
| Bluetooth通信ランプがゆっくり点滅 | Bluetoothが接続されていません |
| Bluetooth通信ランプがすばやく点滅 | Bluetooth接続中        |
| Bluetooth通信ランプが点灯     | Bluetooth接続完了       |

## 7. 1/4" 取り付け用ネジ穴

本体下部の取り付け用ネジ穴で、XbotGoジンバルを三脚に固定できます。


### ▶ ジンバルの調整

1. XbotGoは横方向で録画するためにデザインされています。パワーボタンをすばやく1回押すと、スマホを縦または横方向にすることができます。
2. 録画する前に、モードボタンを2回押して、ジンバルを中央位置に復帰させてください。シャッターボタンがフィールドのセンターラインに合わせるように設置してください。

### ▶ Xbot Goアプリの使い方

Xbot Goアプリと一緒に使用すると、XbotGoジンバルは自動追跡、手動撮影、ライブ配信などの機能が利用できるようになります。こちらの手順で、ジンバルとアプリを接続できます。

接続方法:

1. スマホ設定でBluetoothを有効にしてください。
2. Xbot Goアプリを開きます。
3. オレンジ色の  ロゴボタンをタップします。XbotGoデバイスの名前

は「GP7 XXX」の形式で表示されます。デバイスと接続してください。デバイスが見つからない場合、スマホのBluetooth設定にデバイスが表示されるかどうかを確認してください。他のスマホとすでにペアリングされているデバイスは、リストに表示されません。

4. 接続が完了したら、撮影対象を選択すると、録画モードが起動します。録画モードでは、赤い録画ボタンをタップすると、動きが自動的に追跡され、試合が録画されます。

5. 録画された動画はアプリに保存されます。

「管理」>「ローカル」を選択すると、保存された動画がすべて表示されます。「クラウド

」を選択すると、動画をクラウドストレージに保存できます。アップロード時は、アプリを切り替えたり、閉じたりしないでください。



6. クラウドストレージと配信機能を利用するには、事前にアカウントを登録してからサービスにログインする必要があります。

7. 配信を開始するには、録画画面にある「配信」ボタンをタップしてください。



カバー画像と配信タイトルが必要です。

△ 配信はXbot専用プラットフォームで行われ、配信リンクを知っているユーザーなら誰でも視聴できます。

## 8. 実況配信

- 1) 配信を開始するには、録画画面にある「配信」ボタンをタップしてください。配信ルームのカバー画像を選択肢、配信タイトルを入力してください。カバー画像と配信タイトルは視聴者に公開されます。
- 2) Xbotプラットフォーム、Facebook、YouTube、またはその他の対応配信プラットフォームで配信可能です。Xbotプラットフォームで配信を行うには、セキュリティのためにパスワードを設定することができます。

# 05/ 仕様書

|             |  |
|-------------|--|
| ジンバルの重量     | 362g   |
| 最大荷重        | 280g   |
| 稼働温度範囲      | 0°C – 40°C   |
| 電圧          | 3.4~4.2V (標準 3.7V)                                 |
| 対応可能なスマホの寸法 | 縦幅: ≤ 180mm 横<br>幅: 55~90mm 厚<br>さ: ≤ 9.5mm        |
| 稼働電流        | 150~3000mA (標準 1500mA)                             |
| 寸法          | 展開時: 260mm×130mm×88mm<br>折り畳み時: 152mm×110mm×46.6mm |
| 充電時間        | 80分 (5V/2Aアダプター使用時)                                |
| 稼働時間        | 3~4 時間   |
| 入力電圧        | 5V   |
| 入力電流        | 2A   |

## 06/ 使用上のご注意

---

- ジンバルの電源がオンになったら、回転方向に障害物がないことを確認してください。障害物があり、回転出来ない場合は、アラート音が鳴ります。
- 電源オンの状態では、ジンバルのハンドルを動かさないようにしてください。ジンバルが揺れると、不具合が生じる恐れがあります。そのため、三脚を使用することがおすすめです。
- ジンバルは防水ではありません。液体をかけたり、水で濡らしたり、水没させたりしないよう、ご注意ください。海水や腐食性のある液体に接触させないでください。
- ジンバルを分解しないでください。不注意で分解してしまい、問題が発生した場合、弊社まで連絡し修理を依頼してください。
- 過度な連続運転により、モーターが高温になり、機器が破損する恐れがあります。使用する際に、十分ご注意ください。
- デバイスを落とさないようご注意ください。ジンバルには耐衝撃性はありません。落とされると、デバイスが破損したり、不具合が発生したりする恐れがあります。

## 07/ 保管とメンテナンス

---

- 製品とバッテリーを子どもやペットが届かない場所で保管してください。
- 製品を高熱（ストーブやヒーターなど）の近くや、炎天下の自動車の車内に置かないでください。60°C以上の高温環境でデバイスを保管しないでください。
- 製品とバッテリーを乾燥した環境で保管してください。
- バッテリーの過充電や放電はおやめください。バッテリーが破損する恐れがあります。
- 0°C ~ 40°Cの環境で製品を使用してください。

# 08/ リモートコントローラー

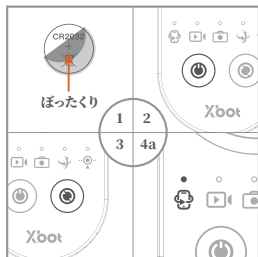
## ▶ リモートコントローラー仕様



|          |                            |
|----------|----------------------------|
| モデル      | XbotGo RC1                 |
| バッテリーモデル | CR2032                     |
| 信号受信範囲   | 10m                        |
| 動作環境     | -5°C ~ 60°C (23°F ~ 140°F) |

## クイックスタートガイド

1. バッテリーコンパートメントのカバーを開け、バッテリーの底部から絶縁プラスチックシートを取り外し、バッテリーコンパートメントのカバーを閉じます。
2. 電源ボタンを3秒間押し続けてリモートコントローラーの電源をオン/オフにします。
3. 電源をオンにした後、機能選択ボタンを押して機能を切り替えます。
4. 最初に使用する前にBluetoothのペアリングが必要です。
  - a. リモートコントローラーの電源ボタンを長押ししてください。リモートコントローラーがオンになっ



た後、電話の接続インジケータが赤く点滅します。

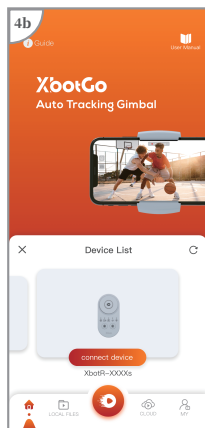
- b. 電源がオンのデバイスに近づいたら、XbotGo APPでXbotR-XXXXを選択してペアリングします。接続が確立した後、電話の接続インジケータが青く点灯します。

#### 5. 信号範囲を超える場合（10メートル）：

リモートコントローラー上の赤いメニューインジケータライトと円環ライトが点滅し、これによりリモートコントローラーの接続が切断されていることが示されます。1分以内に受信範囲に再入すると、リモートコントローラーの青いライトが点灯し、接続が自動的に復元されます。

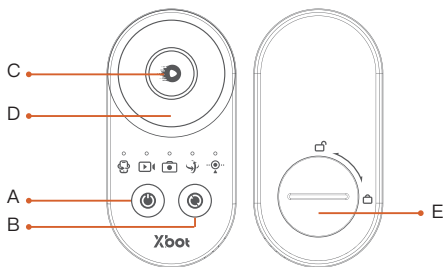
#### 6. スリープとシャットダウン：

3S リモコンは何も操作しないと休止状態になります。休止状態でリモコンのいずれかのボタンを押すと、接続状態になります。5分以上スリープした後、リモコンは自動的にシャットダウンし、電源ボタンを押し、電源を入れた後にデバイスを再度閉じて再接続します。



⚠ 使用中にリモートコントローラーが切断されても、電話側で実行中のプログラムには影響しません。使用中にAPPがリモートコントローラーを検出できない場合は、電源ボタンを3秒間押ししてリモートコントローラーをリセットし、その後ペアリングと接続操作を行って復旧させることができます。

## ▶ XbotGo RC1リモートコントローラー



- A. 電源ボタン
- B. 機能選択ボタン
- C. 確認ボタン
- D. 方向ボタン (円盤)
- E. バッテリーコンパートメント

## ▶ ボタンと機能

使用を開始する前に、リモートコントローラーを十分に理解してください。

## ▶ カメラ機能

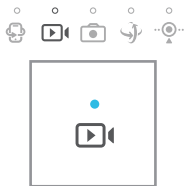
機能選択ボタンを押してカメラ機能に切り替えます。カメラモードで確認ボタンを押して、撮影状態を制御します。

・ リモートコントローラー側:

1. 「ピー」という音が鳴った場合は、アプリが「ビデオ録画開始」の状態であることを意味します。
2. 「ピー」という音が2回連続して鳴る場合、アプリは「ビデオ録画停止」状態にあることを意味します。

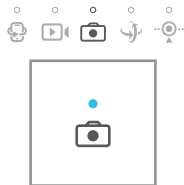
・ **APP側:**

3秒間青いプロンプトマスクが表示され、3秒後にマスクは自動的に消えます。この時点でカメラモードに入り、対応する操作コマンドで撮影状態を確認できます。



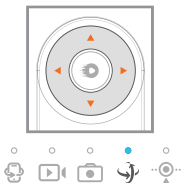
▶ **写真機能**

- ・ 機能選択ボタンを押して写真機能に切り替えます；
- ・ 写真モードでは、確認ボタンを押して写真を撮影します。



▶ **方向操作機能**

- ・ 機能選択ボタンを押して方向操作機能に切り替えます；
- ・ 上、下、左、右の方向ボタンを押して、レンズを対応する方向に回転させます。



▶ **マーキング機能 (カメラ使用時のみ有効)**

撮影プロセスの素晴らしい瞬間を手動でマークし、素晴らしいハイライト動画を自動的に生成します。

リモコンの確認ボタンを押すと、XbotGo APP はマークされた瞬間の前後

のビデオ セグメントを記録します。マーキング ボタンを押すと、青い円形のリング ライトが点滅し、マーキングが成功したことを示します。



素晴らしいセグメントは、XbotGo App/クラウド管理/クラウドドライブで確認できます。



### 注意

リモートコントローラーの赤い呼吸灯が点滅したり、ブザーが鳴ったり、APPにエラーやコマンドの実行失敗などの異常なフィードバックが表示される場合は、APP側のテキスト表示に従って操作してください。





## ▶ 電池

リモートコントローラーにはCR2032ボタン電池が装備されています。



### ⚠ 最高の製品性能を得るために：

- ・異なるタイプの電池を使用しないでください。
- ・2ヶ月以上デバイスを使用するつもりがない場合は、リモートコントローラーに電池を入れたままにしないでください。

### 電池の処分：

- ・電池を未分別の市町村ごみとして処分しないでください。電池の適切な処分方法については、地域の規制を参照してください。

## ▶ リモートコントローラーの注意事項

- ・リモートコントローラーはデバイスから10メートルの範囲内で使用する必要があります。
- ・リモートコントロール信号を受信すると、アプリがペアリングのプロンプトを表示します。

### ⚠ この箇所は変更される可能性があります。

下記のリンクから最新バージョンをダウンロードしてください：[www.blinktech.us](http://www.blinktech.us)

カスタマーサービスは、こちらの連絡先までお問い合わせください。

営業時間：8:00 – 11:00 AM, 8:00 – 11:00 PM EST (M – F)